

2. 観光・交流の視点から見た、九十九里地域のポテンシャル

(2)九十九里のポテンシャル 今後の観光振興の考え方

観光における九十九里地域の資源の活用を想定し、九十九里の資源から想定される新しい旅行・交流スタイルについて、事例を含め整理し、観光コンテンツの考え方として、ワークショップにおいて参加者に示した。

●ウェルネス・ツーリズム／ヘルス・ツーリズム (P70-72)

海、各種アクティビティ、食等、九十九里の地域資源をつなぎ合わせ、コンテンツ造成＝過ごし方提案を行う際には、ウェルネス・ツーリズム、ヘルス・ツーリズムの考え方が参考になる。コロナ禍を経て旅行者における健康に対する関心が高まっており、高付加価値なコンテンツ提供が可能。

事例：千葉県 南房総市観光協会 癒しの森のセラピーウォーキング など

●フード・ツーリズム／ガストロノミー・ツーリズム (P73-77)

その地域の食材を楽しみたい、その地域の文化を楽しみたいという旅行者が増加しており、「ガストロノミーツーリズム」というワードも定着してきた。各自治体のみの食材ではなく、九十九里の食材をストーリーとともに提供するフード・ツーリズムは、九十九里のブランディングを考える上でも重要なテーマになる。

事例：沖縄県 琉球ガストロノミー〈美ら餐〉 など

●アドベンチャーツーリズム (P78-79)

アクティビティへの参加を手段として地域をより深く楽しみながら地域の人々と双方向で自然と文化を知ることが目的とするアドベンチャーツーリズムにおける、地域の「ストーリーづくり」等の考え方も九十九里においても参考になる。

事例：山梨県 エコロジック 富士山の里山文化体験マウンテンバイクエコツアー

●ワーケーション×関係人口 (P80-91)

コロナ禍において、新しい交流スタイルとして提示されたワーケーションは、千葉県においても様々な地域で取り組みが始まり、九十九里では銚子市においてワーケーション推進協議会が立ち上げられた他、宿泊施設など施設単位で受け入れの取り組みが見られます。ワーケーションは従来型観光と異なり、来訪者との交流の仕掛けを用意することで、地域内に様々な創発を生み出す交流スタイルで、関係人口づくりの取り組みであり、九十九里地域の地域資源の活用、プレイス・ブランディングの検討において参考になる。

事例：和歌山県 「津和野ガルテン」 など



(1)ヘルスツーリズム

ヘルスツーリズムとは

健康・未病・病気の方、また老人・成人から子供まですべての人々に対し、**科学的根拠**に基づく健康増進（EBH: Evidence Based Health）を理念に、旅をきっかけに健康増進・維持・回復・疾病予防に寄与するもの（出典：特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構）

「旅で健康になる」ではなく、「旅をきっかけに健康になる・健康を意識する」こと。

旅行者と地域の**住民双方の健康推進に寄与するまちづくり**、**商品・研究開発や販売促進のためのフィールド**としても注目されている。

疾病予防の3段階

ヘルスツーリズムの領域

一次予防： 病気にならないための処置や指導（生活習慣の改善、健康教育など）

二次予防： 早期発見、早期治療

三次予防： 後遺症、再発防止、リハビリテーションや社会復帰など

スポーツ/アクティビティ
Sport/Activity



<運動>を旅のテーマに
おすすめプランを紹介します

リラクゼーション
Relaxation



<休養>を旅のテーマに
おすすめプランを紹介します

ヘルシーフード
Healthy Food



<栄養>を旅のテーマに
おすすめプランを紹介します

“健康”をフックに、温泉、自然、食などの地域資源を改めて健康資源として見直し、魅力付けし、ヘルスツーリズムとしての受け入れ体制の基盤づくりをする。

↓

地域コンテンツのブラッシュアップ

(1)環境×アクティビティ×食×温泉・・・ヘルスツーリズム

癒しの森のセラピーウォーキング ※「ヘルスツーリズム認証」プログラム

【森林セラピー】×【タラソセラピー】＝南房総こちよい時間

森林セラピー基地にも認定されている大房岬自然公園にて、温暖な気候の中で森と海を活用し、ドイツで親しまれている気候療法を取り入れた「健康への気づき」から「健康増進」につながるプログラム。

<プログラム内容>

森林セラピー基地にも認定され、高低差が少なく、ほどよい運動ができる約3キロのコースを2時間半程度でウォーキング。潮風を浴びながら、森林浴を楽しむウォーキングと休息を、ゆったりとした時間の流れの中で体験していただき、ONとOFFを感じながら、健康への気づきを与えるプログラムとして提供します。



- オリエンテーション、健康チェック (15分)
- ウォーミングアップ・準備体操・ストレッチ (15分)
- 砂浜タラソウォーク&ビーチコーミング (15分)
- ストレッチ、座観 (休養) (15分)
- 森林セラピー、要塞跡見学 (15分)
- ストレッチ、記念撮影、脈拍、皮膚表面温度測定 (15分)
- 香り体験 (黒文字)、音当カルタ (ネイチャゲーム) (10分)
- ハンモックで休憩 (20分)
- 森林セラピー (15分)
- ストレッチ、健康チェック、アンケート記入、振り返り (15分)



日本ヘルスツーリズム振興機構 サイトより

<https://htq.npo-healthtourism.or.jp/member/kanto/2122343101.html>

(1)環境×アクティビティ×食×温泉・・・ヘルスツーリズム

| 九十九里エリアの地域資源を想定した参考事例 | | |
|---|---|--|
| あおりベイタラソウォーク&ヨガ ＜青森市＞ | ベイエリアのノルディックウォーキング+ヨガ | メタボリックシンドローム・生活習慣病 身体活動・運動 |
| クアオルトバランス膳・早朝ウォーキング ＜山形県上山市＞ | カラダに優しい食事（地域食材）+早朝ウォーキング+温泉 新しい温泉地での過ごし方「新・湯治」を提唱 | メタボリックシンドローム・生活習慣病 身体活動・運動 栄養・食生活 休養・こころの健康 |
| 楽しく歩ける“生涯スポーツゴルフ”と“心と体の食”再発見の旅 ＜石川県 小松市＞ | ゴルフの健康貢献度を個別にチェック+食（地・旬の食材会席のグルメナイト） | 身体活動・運動 栄養・食生活 |
| ココロとカラダを整える 「大淀海岸タラソテラピーウォーク」 ＜三重県 明和町＞ | 天皇に代わって天照大神に仕えた斎王と呼ばれる皇女が神嘗祭で伊勢神宮へ向かう際に身を清めた「禊」の地を歩く、ここにしかないタラソテラピー | メタボリックシンドローム・生活習慣病 身体活動・運動 栄養・食生活 休養・こころの健康 |
| 海の京都「百寿人生のレシピ」 体感プログラム ＜京都府 京丹後市＞ | 全人口に占める百歳以上の方（百寿者）の割合が全国平均の約3倍という“長寿のまち”で先人の「百寿人生のレシピ」を学びつつ美食、ジオパークのレトロな漁師町をガイドと一緒にウォーキング | メタボリックシンドローム・生活習慣病 身体活動・運動 栄養・食生活 休養・こころの健康 |
| 逃げ旅シリーズ 聖地リトリート ＜沖縄県 南城市＞ | 心理カウンセラーの資格者、琉球セラピストがカウンセリング、呼吸法、マインドフルネス・禅の技法を使い、聖地（砂浜・聖なる泉）を廻る | 身体活動・運動 休養・こころの健康 |

日本ヘルスツーリズム振興機構 <https://www.npo-healthtourism.or.jp/htarea/index.html#area001>

ポイント  “健康”をフックに、温泉、自然、食などの地域資源を組み合わせ、コンテンツの魅力を高めている

(2)地域の歴史・生活文化・農業・漁業×食 ガストロノミーツーリズム

「ガストロノミーツーリズム」の構成要素

「ガストロノミーツーリズム」は地域ならではの食・食文化を楽しむことが旅の中心の目的であり、地域ならではの場所や人が関わる体験によって、目的である食・食文化の価値が高まる旅であり、コンテンツの高付加価値化の重要な領域となっている。

UNWTOの『ガストロノミー発展のためのガイドライン』では、記憶に残る観光体験に求められる要素として、以下が挙げられており、コンテンツの高付加価値化、消費単価の向上を検討する上で重要な項目になる。

| 記憶に残る観光体験に求められる要素 | |
|--------------------------------------|---------------------------|
| ☑独自性のある環境の整備やストーリーを策定する | ☑アクセスを限定する |
| ☑観光関連事業者との交流の機会を提供する | ☑学びの機会を増やす |
| ☑テーマ別にする | ☑楽しみ、くつろぎ、あるいは非日常の体験を提供する |
| ☑感情を解き放つ | ☑地域の資源を統合する |
| ☑地域の産品を活用した観光客が家に持ち帰れる有形物やお土産などを用意する | |

(2)地域の歴史・生活文化・農業・漁業×食 ガストロノミー・ツーリズム

事例① 地域としての統一規格による各宿泊施設・観光施設による取り組み



美ら餐
Ryukyu Gastronomy

琉球ガストロノミー <美ら餐>

<https://ryukyu-gastronomy.jp/>

沖縄の歴史・食文化

沖縄は琉球と呼ばれた時代、近接する日本・中国、マレーシア、タイなどの東南アジア諸国などとの交易、交流により栄え、当時鎖国状態にあった日本本土とは大きく異なる独自の文化を育てていました。

当時の琉球の港には、薩摩（鹿児島）を経て日本本土へ輸出する泡盛（焼酎）や、香辛料、砂糖、菓種などの物品、日本本土からは中国（清国）への交易品として乾昆布や干鮑、いりこなどといった食材が集められており、それら荷物の一部は琉球国内でも食されていました。

その後、琉球は沖縄県として日本へ併合、大戦を経てアメリカによる統治などの時代を迎えましたが、その間もそれぞれの文化を吸収し、温暖で豊かな自然環境の下、沖縄ならではの多様で固有な文化、芸能が誕生、継承されています。



(2)地域の歴史・生活文化・農業・漁業×食 ガストロノミー・ツーリズム

事例① 地域としての統一規格による各宿泊施設・観光施設による取り組み



美ら餐
Ryukyu Gastronomy

琉球ガストロノミー <美ら餐> <https://ryukyu-gastronomy.jp/>

沖縄のリゾートホテルで、地域の食材を用い、しっかりとした沖縄・琉球料理を提供しているホテルが少なかったことから、本島に分散する複数のホテルで、沖縄の食文化を伝えることを目的に、**沖縄の食の歴史・文化の勉強会**を行い、各ホテルの個性を活かした琉球料理・プランを提供。

プランの開発では、以下の統一要件、ルールを定めた。

「琉球ガストロノミー」の要件

- ①沖縄県ならではの風土・歴史・文化を踏まえ、料理で表現 = その土地の風土と歴史を料理する
- ②地域の「いい食材」を積極的に使用
- ③「わざわざ来てよかった」と思ってもらえる料理
- ④食べる人の笑顔と健康を考えた料理
- ⑤発展とともに持続可能な内容であること SDG s
- ⑥ガストロノミー = 食材の生産、その根幹となる資源や環境への配慮、流通・加工・調理技術、食卓上の表現、サービスやマナー、すべてをひっくるめて『より良い食べ方の追求』

「琉球ガストロノミーディナープラン」のルール

- ①上記要件を満たすこと
- ②コース料理・プランとして提供すること（宿泊を伴わない摂食を可能とすること）
- ③上記プラン付きの特別宿泊プランとして提供すること（利用インセンティブ（特典）を付与する事）
- ④食べる人に感動と付加価値を与える解説を伴う提供方法であること

ポイント 

●地域の歴史・文化とともに食の伝統を食のプロたちが学び直し、共通のコンセプトのもとそれぞれの分野の料理を考案⇒プログラムとして提供

(2)地域の歴史・生活文化・農業・漁業×食 ガストロノミー×ツーリズム

事例② 地域としての取り組み コープさっぽろ 畑でレストラン

<https://www.sapporo.coop/content/?id=3276>



「コープさっぽろ農業賞」を受賞した生産者の畑に、1日限りの「ランチレストラン」を開店いたします。絶景のロケーションの中で、北海道で活躍する人気シェフが畑のとれた野菜を使って、スペシャルランチコースをご提供。ランチの前には、その食材がとれた畑を生産者さんと一緒に歩くファームツアーを実施。

2023年は6月11日（日）～9月24日（日）で全12回開催

<内容>

11：00～ファームツアー
12：00～スペシャルランチ
14：00終了予定

2022年は定員40名のところ最大で99名の応募があり、倍率は2.5倍



(2)地域の歴史・生活文化・農業・漁業×食 ガストロノミーツーリズム

事例② 地域としての取り組み

| |
|--------------------------------|
| 畑でレストラン ▶ |
| 6月11日美唄市 西川農場 ▶ |
| 6月18日足寄町 ありがとう牧場／しあわせチーズ工房 ▶ |
| 7月2日清水町 あすなるファーム ミング ▶ |
| 7月9日厚真町 ハスカップファーム山口農園 ▶ |
| 7月16日上富良野町 多田農園 ▶ |
| 7月17日千歳市 はるか農園 ▶ |
| 8月20日新篠津村 大塚ファーム ▶ |
| 8月27日江別市 アンビシャスファーム ▶ |
| 9月3日真狩村 ごとう農園 ▶ |
| 9月10日森町 政田農園 ▶ |
| 9月17日栗山町 菅野牧園 ▶ |



■生産者/シェフ のご紹介

生産者 ハスカップファーム山口農園 (厚真町)

山口さんは山口農園5代目。酸味の強いハスカップ原種から糖度の高い品種を育て、6次産業化や交流も積極的に行っています。また地域ぐるみでハスカップ栽培を広げ、厚真町は作付面積日本一を誇る産地になりました。第10回農業賞では山口さんの一連の活動が「北海道知事大賞」を受賞。その翌年、胆振東部地震で農地の一部が土砂に埋まる被害に遭いました。「胸を張れる賞をいただいたこと、そしてこの賞は地域の仲間のおかげで受賞できたことが、震災後も頑張れる動機になったと思います」。第10回農業賞「北海道知事大賞」受賞。



Gravita (グラヴィータ) 平木正人シェフ

根室市出身。落合務シェフがプロデュースする「ラ・リング・オチアイ」にて修業を始める。2010年3月から同店のシェフに就任。2015年11月イタリア料理店「グラヴィータ」オープン。アットホームな雰囲気幅広い客層に愛されている。

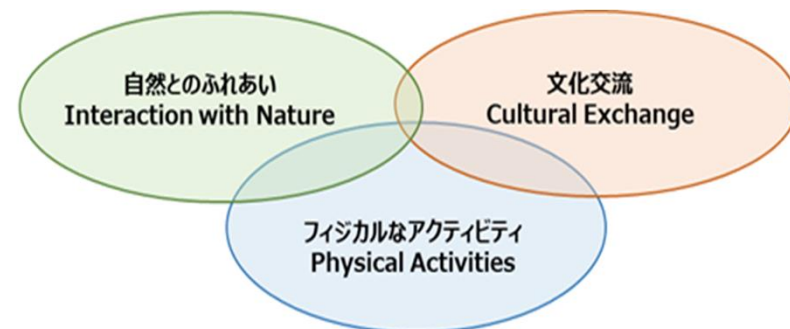


ポイント

- 旬の食材、生産者と料理のプロを組み合わせ、地域の生活、文化、食をストーリーとともに楽しむ

(3)アクティビティ×地域の生活文化／高付加価値化 アドベンチャーツーリズム

単なる自然体験アクティビティの提供ではなく、アクティビティへの参加を手段として地域をより深く楽しみながら地域の人々と双方向で自然と文化を知ることを目的とするアドベンチャーツーリズム（以下AT）のコンセプトは、コンテンツの高付加価値化の基本の考え方として参考になる。



ATではストーリーの伝え方を重視しており、①自然的特性を紐解き、それによる②歴史・文化の発生を伝え、それらが時間とともに③ユニークな地域文化となったことを伝え、その上で、④任意のアクティビティをこの場で楽しむべき理由を伝えることで、自然、文化、アクティビティをそれぞれがバラバラに体験するよりもよりストーリーを伴った充実した体験となるとして、ストーリー構成要素を以下のように整理している。

アドベンチャーツーリズムの5つの体験価値

| | |
|--|--|
| The Novel and Unique いままでにないユニークな体験 | その他の場所では味わえない、その地ならではの体験がある |
| Transformation 自己変革 | 体験を通じて、自己が成長・変化していくことができる |
| Wellness 健康であること | 旅行前より心身ともに健康になった感覚を得ることができる |
| Challenge 挑戦 | 身体的・心理的にさまざまな意味合いでの「挑戦」の要素が体験に含まれている |
| Impact ローインパクト | 体験にあたって、文化や自然に対してインパクトを最低限に抑えられていると感じられる |

(3)アクティビティ×地域の生活文化／高付加価値化 アドベンチャーツーリズム


 一般社団法人 エコロジック <https://ecologic.or.jp/>

富士山の里山文化体験マウンテンバイクエコツアー <https://ecologic.or.jp/summary/fuji-ecotour/ecotour02/>

富士山の恵みを感じ湧水を巡る里山文化体験 マウンテンバイク・エコツアー（5.5時間）【春・夏・秋】



富士山麓の里山をマウンテンバイクで、湧水の流れと共に爽快に下ります。富士山の伏流水が流れ出る美しい白糸の滝を訪れ、お昼には地元のおかあさんが打った手打ち蕎麦を、地元で採れた野菜の天ぷらとともにいただきます。春・秋は、富士山の湧水の恵みで造る日本酒の酒蔵を、18代目の蔵主にご案内いただきます。夏は、富士山の冷たい伏流水が流れる川で、水に触れて楽しめます。

マウンテンバイクで富士山麓の風を直に感じて、富士山の里山の水の恵みを堪能し、地域の温かい人々の心にふれるエコツアーです。

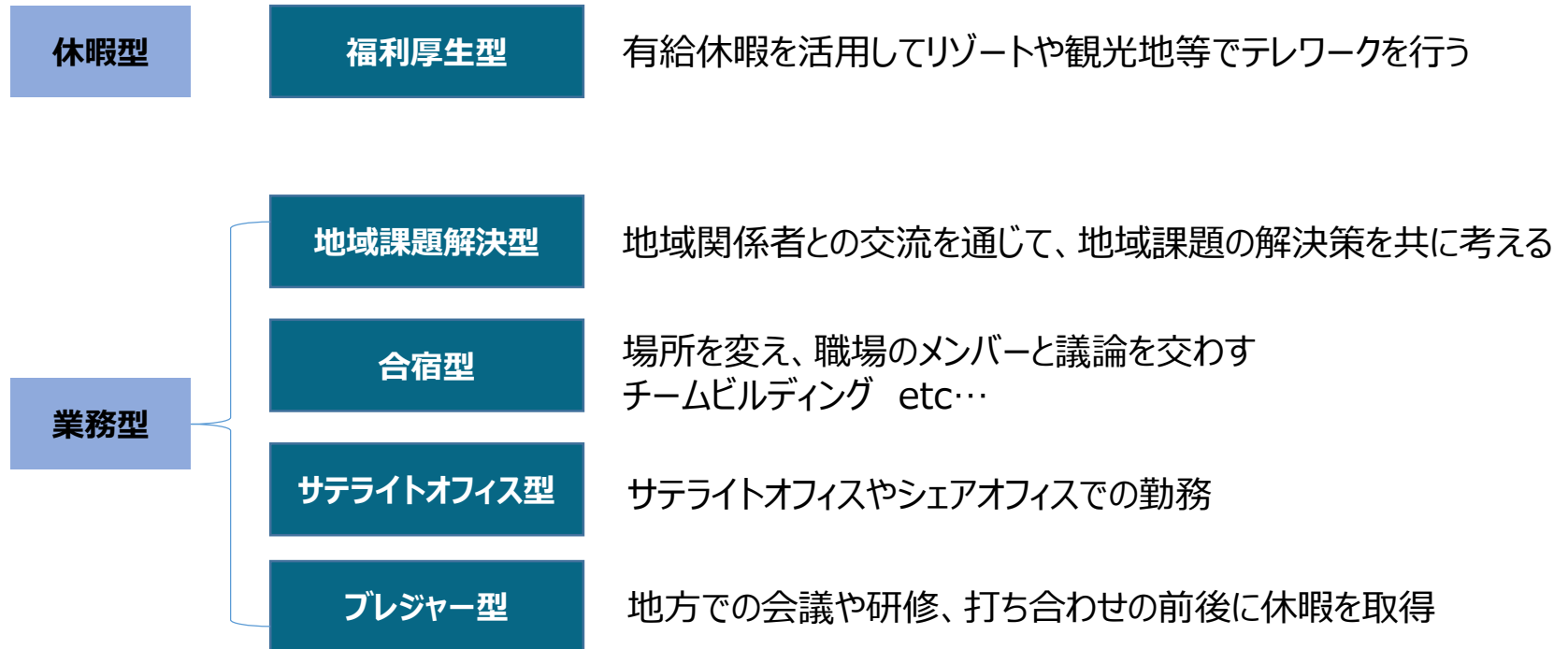
- ・上限人数：10名 料金：18,500円（税別）／おひとり様
- ・料金に含まれるもの：英語ガイド、マウンテンバイクレンタル、手打ちそば天ぷらランチ、芝川川遊び体験・かき氷づくり（夏）、富士錦酒蔵見学（春・秋）、スナック、ペットボトル水1本

ポイント 

- 単なる個別体験ではなく、湧水⇒蕎麦⇒酒蔵と、富士の湧水によるストーリーづくりがされている
- 地域を知るガイドが案内し、地域の人との交流をはかる

(4)新しい交流の形 ワークেশョン


ワークেশョンの実施形態イメージ



観光庁資料「ワークেশョンやブレジャー等の活用による働き方改革」を基に筆者加筆

(4)新しい交流の形 ワークेशन 千葉県内でのワークेशन推進

- 多古町
 - ・【多古町×マイナビ地域創生×ANA成田エアポートサービス】千葉県最大規模の古民家を再生活用。一棟貸古民家宿「太三川邸」が地方創生事業としてオープン
 - ・観光客・ワークेशन及びインパウンドの誘致を行い、宿泊利用を通じた交流人口・関係人口の創出に資する施設を目指す



- 成田市
 - ・シェアスペースGAKUYAを成田駅前にオープン

- 佐倉市
 - ・シェアオフィス、コワーキングスペースとなる多様な働き方や起業支援の拠点をオープン

- 柏市
 - ・キャンパ場をサテライトオフィスにする新たなサービス「Office to go」の提供スタート
 - ・「Kashiwa grand～シェアオフィス&コワーキングスペース～」の運営を開始@柏高島屋ステーションモール

- 松戸市
 - ・「松戸市サテライトオフィス等立地促進補助金」を活用したイノベーション施設が松戸駅西口にオープン


- 船橋市
 - ・船橋市テレワーク導入支援補助金
 - ・市HPにて「テレワーク」について情報発信

- 千葉市
 - ・テレワーク推進事業


- 袖ヶ浦市
 - ・コワーキングスペースの開設

- 市原市
 - ・テレワーク導入促進事業補助金
 - ・いちほらライフ&ワークコミッション…移住・ワークेशनのHP開設
 - ・観光庁「『新たな旅のスタイル』企業と地域によるモデル事業」採択、「ゴルフワークेशन」誘致取組みへ

- 長柄町
 - ・長柄のママ4人が家づくり挑戦！杉の伐採から内装まで。ワークेशनなどで貸し出しへ



- 南房総市
 - ・サテライトオフィスのサイトを開設
 - ・「南房総ワークेशन」では多数のアクティビティ体験を提供し、誘致活動を行う
 - ・ワークेशन自治体協議会に加盟



- 館山市
 - ・テレワーク拠点整備・ワークेशन推進の補助金を創設
 - ・ワークेशन自治体協議会に加盟

- 香取市
 - ・テレワーク活用移住者奨励金
 - ・株式会社京葉銀行は、佐原信用金庫および株式会社地域経済活性化支援機構と共同で取り組んでいる歴史的資源を活用した観光まちづくりを推進している。新たな働き方の提案において、テレワーク環境の整備、ワークेशनマップの作成をしている

- 銚子市
 - ・銚子ワークेशन推進事業・銚子型朝方ワークेशन・国内初のデジタルドックス×電車サウナワークेशन
 - ・長期滞在・交流型ワークेशनの推進による地域活性化事業…信金中央金庫が企業版ふるさと納税1,000万円を寄付
 - ・ワークेशन自治体協議会に加盟




- 旭市
 - ・テレワーク情報サイトの開設

- 横芝光町
 - ・テレワーク・ワークेशन施設としても利用できる施設がオープン

- 山武市
 - ・山武市ワークेशन等環境整備支援金

- 九十九里町
 - ・Airbnbの貸切ステイワークेशन宿泊施設「BACKSHORE_99」を活用したワークेशनに取り組んでいる


- 白子町
 - ・(一社)ワークेशन協会の自治体会員
 - ・ワークेशन協会の実績として、地元の不動産、内装業者が協力を行い、「お試し住宅」として「白子ヤード」にてサービスを開始。リモートオフィスとしても活用。2019年5月から運用を開始し、1年間で約20家族・80名ほどが3日から10日間の移住体験を実施。引き続き、移住者促進のためのワークेशनを推進



- 一宮町
 - ・海沿いという立地を生かしたワークेशनスペースが多い

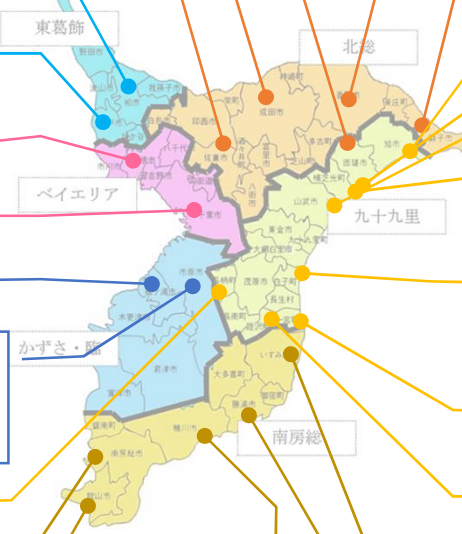
- 睦沢町
 - ・「ワーク&スタディスペース実証事業」実施
 - ・(一社)ワークेशन協会の自治体会員

- いすみ市
 - ・ツーリズムいすみ、「いすみ『自然と繋がる暮らし』体験ツアー」を実施
 - ・いすみ市にある無印良品の家、「陽の家」でワークेशन体験モニターを実施
 - ・NPO法人いすみライフスタイル研究所 移住希望者の受入相談のほか、ワークेशन、テレワークの相談を行っている



- 鴨川市
 - ・「鴨川ワークेशनスタイル」(Wellness×Sports03) 発行し、情報発信
 - ・「カモ旅」にて、ワークेशन&プレジャーの情報発信

- 勝浦市
 - ・おためしサテライトオフィスの設置
 - ・平成29年度予算ふるさとテレワーク推進事業…勝浦テレワークセンターの設置

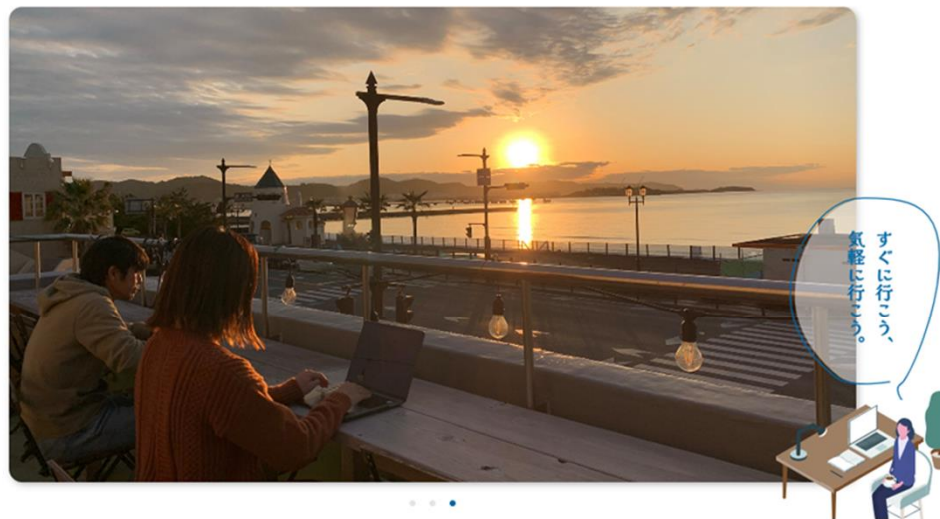


(4)新しい交流の形 ワークेशन 千葉県内でのワークेशन推進

ちょっとちかばでワークेशन

<https://chiba-workation.jp/>

千葉県ワークेशनサイト



千葉県 × ワークेशन

企業合宿等を中心に訴求
But・・・

首都圏にありながら豊かな緑と海に囲まれ、風光明媚で温暖な千葉県。新鮮な山の幸や海の幸のグルメ、マリンスポーツや観光だけでなく、ワークेशनとしてしっかり仕事ができる環境があります。

首都圏から「ちょっとちかば」で企業の合宿などでも気軽に何度でも訪れやすい千葉のここでしか味わえないワークेशनをご紹介します。

「チーム力アップ」「モチベーション向上」「CSR・CSV」など自社の希望に合う施設を見つけてみてください。

そして、普段とは違う場所で仕事をしながら、千葉を知り、千葉での余暇を楽しんでみるのはいかがでしょうか。



(4)新しい交流の形 ワークेशन 千葉県内でのワークेशन推進

<https://chiba-workation.jp/facility/kujukuri/>

太平洋に面した九十九里浜を中心とし、古くから地引網漁が行われ、新鮮な海の幸が楽しめるだけでなく、イチゴ狩りやブドウ狩り、サツマイモ掘りなど、自然とふれあえるスポットもたくさんあるエリアです。四季を通じてサーフィンやジェットスキーなどのマリンレジャーを楽しむ人が多く、お仕事の合間のリフレッシュを満喫できます。



コーディネートはどこでもらえるの？



コワーキングスペース アゼリア

九十九里エリア ワークスペース



横芝駅前情報交流館 ヨリドコロ

九十九里エリア ワークスペース

観光・食



Gwwwl白里 (グールシラソト)

九十九里エリア ワークスペース

宿泊



大網白里市 (マリンスポーツ)

九十九里エリア 観光・食



CAMPiece横芝光

九十九里エリア 宿泊



オーシャンビューリゾートサンライズ九十九里

九十九里エリア 宿泊



九十九里町 (マリンスポーツ)

九十九里エリア 観光・食



九十九里ハーブガーデン オートキャンプ場

九十九里エリア 観光・食



Enfield一宮

九十九里エリア ワークスペース

宿泊



一宮町 (マリンスポーツ)

九十九里エリア 観光・食



道の駅 むつざわ つどいの郷

九十九里エリア 観光・食



Sport & Do Resort リゾルの森

九十九里エリア 宿泊



NB Workation

九十九里エリア ワークスペース



NB surf camp

九十九里エリア ワークスペース

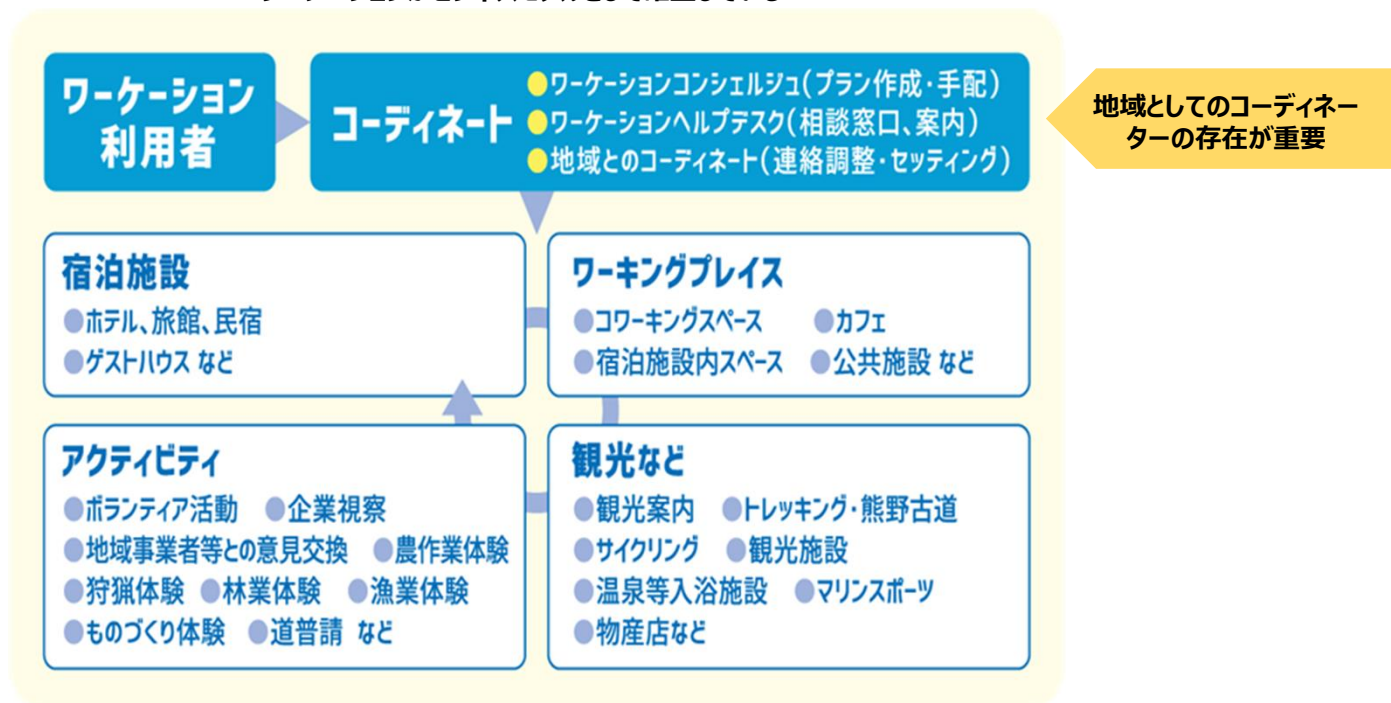
(4)新しい交流の形 ワークेशन 和歌山県の実践事例

和歌山県では、平成29年度より、全国の自治体に先駆けて「ワークेशन」の取組みを開始し、**Work × Innovation × Collaboration**をテーマに企業向けのワークेशनを推進してきた。

令和元年には、ワークेशनの普及促進を目的にワークेशन自治体協議会（WAJ：Workation Alliance Japan）を設立。企業誘致に加え、首都圏企業の次世代リーダー候補者に対して、地域課題解決に係る地方創生講座や、夏休みの期間に行う親子ワークेशनなども実施。

ワークेशन専用のホームページの開設やパンフレット作成などの情報発信を強化し、**地域住民に対しワークेशनの理解を促す活動**を行っている。

ワークेशनがビジネスモデルとして確立している



※観光庁「新たな旅のスタイル ワークेशन&プレジャー」

(4)新しい交流の形 ワークेशन 和歌山県の取組み事例

平成29年度からワークेशनの取組みを開始し、平成29年度～令和元年度の3年間で104社910名がワークेशनを体験。

| 年度 | タイトル | 内容 |
|------|-------------------|--|
| 平成29 | ワークेशन東京フォーラム | 都内企業の取締役等132名向けに、白浜でのワークेशन（トライアル）について概要を説明、関心を示してもらう |
| | ワークेशन体験会 | ソフトバンク、グーグル、シスコ、DNP、JAL、日本能率協会等が参加 |
| 平成30 | ワークेशन・イベント | 県内でワークेशनを実施し、レポートを提出いただいた方に協力費を支払い、モデルケースや課題を収集 |
| | 第1回 親子ワークेशन | 首都圏の14家族が、白浜町で親子でのワークेशनを体験 |
| 令和元 | 第2回 親子ワークेशन | 首都圏の8家族が、白浜町・串本町で親子でのアウトドア・ワークेशनを体験 |
| | 関係人口創出・拡大事業 | 総務省の採択を受け「コレクティブ・インパクト・リーダーシップ(CIL)@わかやま2019」を開催 |
| | オンラインワークेशन | ワークेशन導入に向けたガイダンスウェビナーと、白浜のオフィス視察、熊野古道等の和歌山県の観光ツアーをバーチャルで体験 |
| 令和2 | ワークेशन・リーダーズ・サミット | 先進企業や先駆者達の講演やパネルディスカッション、白浜でのワークेशनの体験会、企業と自治体のマッチング等様々なプログラムを開催 |

(4)新しい交流の形 ワークेशन 事例：和歌山県「秋津野ガルテン」

都市と農村の交流を目指したグリーンツーリズム施設「秋津野ガルテン」。地域住民の出資により、**小学校跡を改装して建てられた都市と農村の交流を目指したグリーンツーリズム施設**で、レストラン、宿泊、農業体験・里山体験のプログラムなどに加え、ワークスペースを備え、ワークेशनの対応を行っている。地域資源を総合的に活用する拠点づくりとして参考になる。

ひとつ、ひとつが手づくり。和歌山県田辺市上秋津4558-8
スローフードバイキング 農家レストラン **ムツノ** グリーンツーリズム施設秋津野ガルテン内
電話0739-35-1199 FAX0739-35-1192

いいね! 7 シェアする



地元で採れる新鮮な野菜を使った、地元主婦の手づくりの家庭料理を提供。こだわり30種類のバイキングランチ 大人1,300円

<https://workation.agarten.jp/>

和歌山県田辺市上秋津の 豊かな農村空間にITオフィスが誕生!

秋津野の里に進出しませんか



木造2階建てのサテライトオフィスが平成31年に完成。ICT企業を誘致し、4社が進出。

<https://greenoffice.agarten.jp/>

(4)新しい交流の形 ワークーション 事例：和歌山県「秋津野ガルテン」

ワーキングスペース



ワークーションとともに、学びの場、体験、近隣のツアーなど過ごし方を提案。

WiFi環境、大型65インチモニター、Webカメラ、Web会議専用マイク・スピーカー、27インチの液晶モニター等の設備

【料金】

宿泊者：半日無料（到着日or出発日）

一般利用：半日2000円（4名様まで）

5名様以上の利用は1800円/時間

プラスα



学び

地域活性化の学び

秋津野ガルデンのある田辺市上秋津地域は昭和30年代より住民が自発的に、そして主体的に地域づくりに取り組んで地域活性化を実現しています。疲弊する地域も多い中、秋津野の里のこれまでの歩みを学んでみるのも、これからの仕事に役立つのではないのでしょうか。

※お食事・ご宿泊され方
講師料金 17,000円（90分程度）
テキスト資料料金（お一人350円）

四季折々の体験をしてみませんか

秋津野の里でのんびりと過ごすもよし、少しアクティブに農業体験で農家の方とお話をしながら顔に汗をすることで、心と体のリフレッシュ！都会では得ることのない体験になります。



料金（作業体験によって異なります）
お一人一時間（2000円から）

のんびり里山散策

秋津野は自然豊かで歴史もあり毛細血管のように農道や里道が通っています。みかん畑を抜け林間コースへと、あなたの体力に合わせて、散策ガイドを手に一日のんびりと歩いて田舎を感じてください。



吉野熊野国立公園にも指定されています。

相槌を使ったスイーツ体験

木造校舎内にありますカフェ「パレンシア 榎」では、秋津野のさで採れたかんきつを使ったスイーツづくり体験が出来ます。自分で作ったスイーツを味わい、この里でとれる相槌の豊かさを感じてください。



世界遺産熊野古道へ

癒しと暮りの地、熊野古道中辺路ルートへの玄関口の宿としても人気の秋津野ガルデンです。平安の貴族たちが熊野を目指したルートをおなたもたどってみませんか。



南紀白浜へ

日本屈指の温泉リゾート地南紀白浜まで秋津野ガルデンから車で約20分。ジャイアントバンダの数が日本一多いアドベンチャーワールドも人気です。疲れた体を癒すには温泉です。

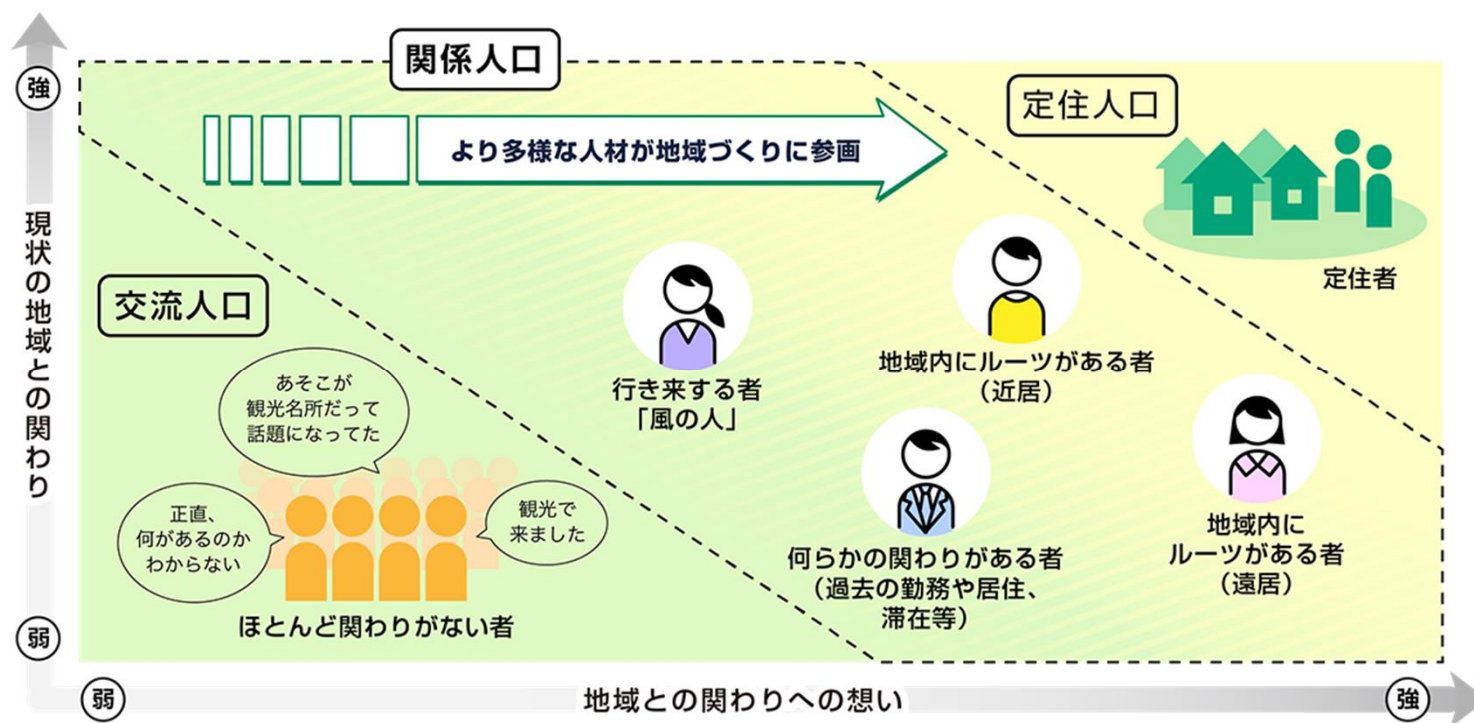
ポイント

- ワーキングスペースの提供、周辺の情報提供に留まらず、施設を拠点に、グリーンツーリズムや周辺地域のツアー、地域課題の学びの場など、来訪者との関係づくりの仕掛けを作っている。

(5)関係人口

関係人口とは..

「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉です。地方圏は、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面していますが、地域によっては若者を中心に、変化を生み出す人材が地域に入り始めており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されています。（総務省）

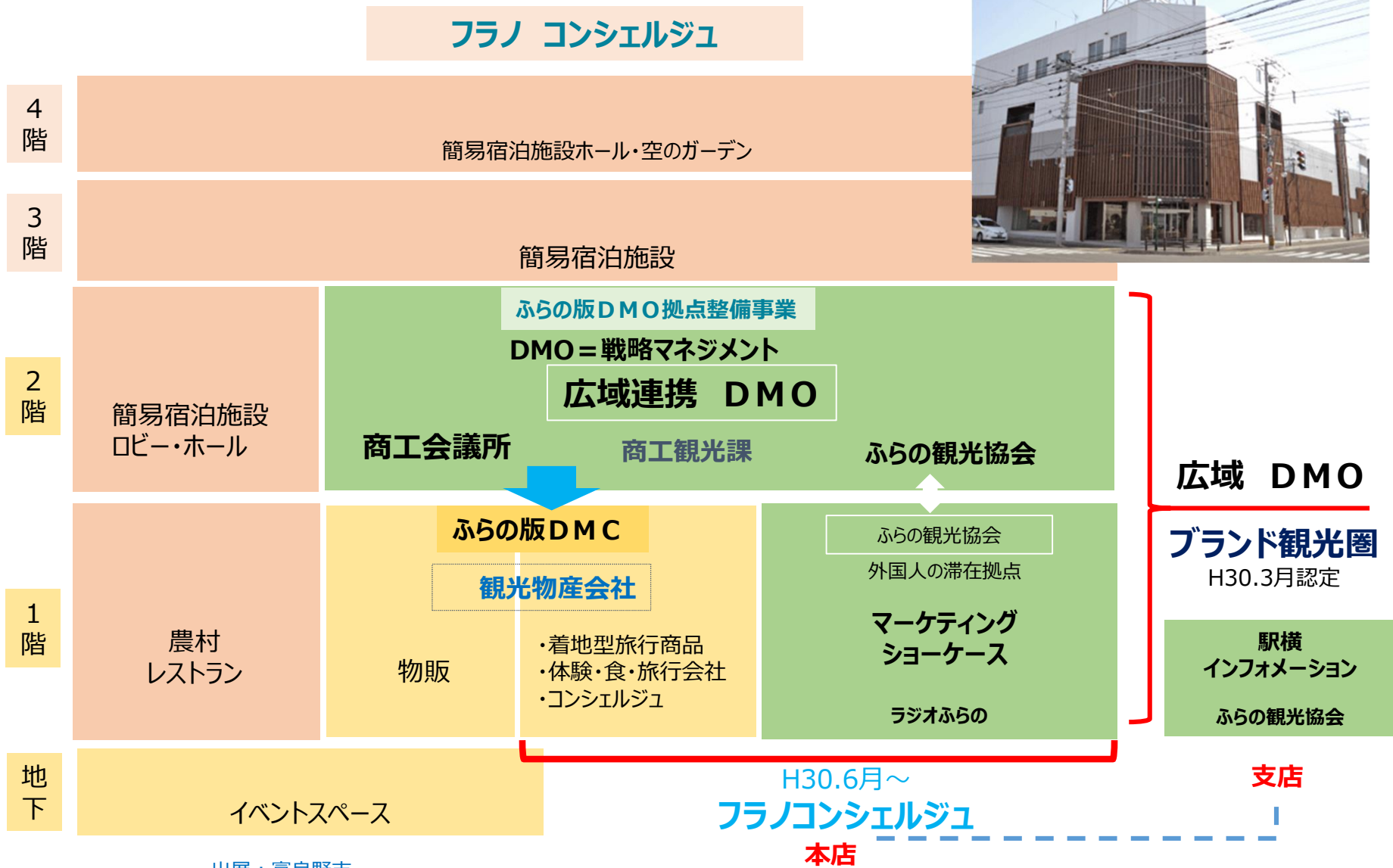


(5)関係人口

関係人口とは…

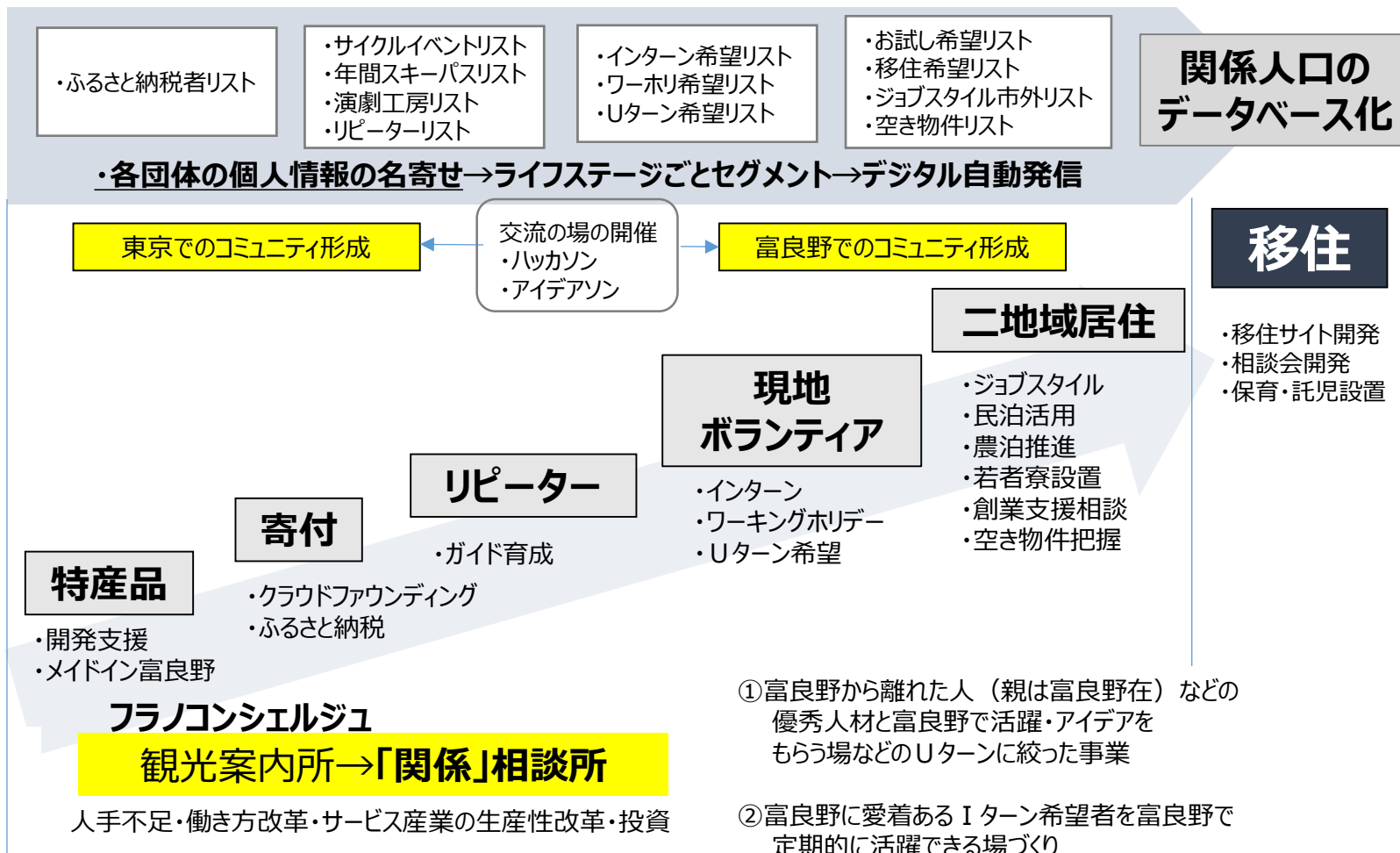
- ☞「関係人口」とは、移住による「定住人口」でもなく、観光による「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる者。
 - ☞地方では、人口減少・高齢化により地域づくりの担い手不足という課題に直面しているが、地域によっては若者を中心に、変化を生み出す人材が地域に入り始めており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待できる。
(総務省)
 - ☞狭義の観光＝「交流人口」と、心理的なハードルの高い移住＝「定住人口」の間、地域外の人々と地域の多様で継続的な関わり方を考える取組み。
ex.地域課題の解決、伝統文化の継承 etc..
 - ☞関係人口作りは移住、定住人口を増やすための施策ではない！
地域に対するファンづくり、地域愛づくり、地域に係る仲間を増やす取組み。
- “大切なのは全体ではなく個としての存在をしっかりと歓迎することです。そろそろ人を数で語る時代とはさよならをして、顔と名前を覚える時代が『地方創生』の次なるステップになるかもしれません”（指出,2017）

(5)関係人口 事例：ふらの観光協会



(5)関係人口 事例：ふらの観光協会

将来的には観光振興～移住定住政策を別々に実施するのではなく、「関係人口」の考え方のもと、各種データを統合することで、統合戦略として実施することで、効果的な施策が実現できる。



(1) 経験価値 4Eモデル

経験経済の考え方においては、下記の4つの経験が価値を生むとされている。旅においても、これらの要素を兼ね備えることにより、**旅の付加価値を高める**ことができる。



出典：経験経済（B. Jパイン+ J. Hギルモア著）

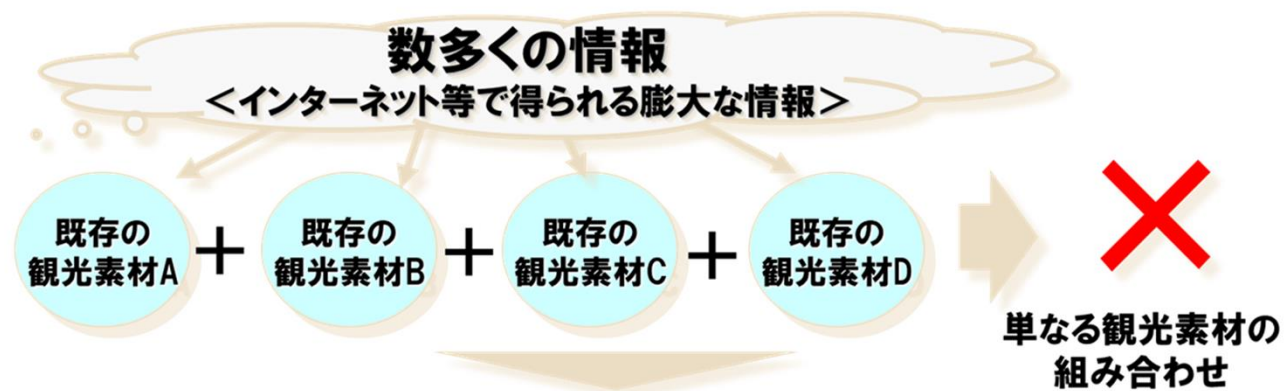


4Eの視点で提供できるコンテンツを考える

(2)コンテンツの造り方 何を伝えるのか／資源の組み合わせではだめ

- ☞多くの地域資源をそれぞれ訴求しても、地域の魅力は伝わらない。
- ☞数多い資源を並べ立てても、人は認知しない。 ⇒地域で考えること／地域ブランドの必要性

<シナリオづくりのできない旅行企画の例>



<旅行企画においてのあるべき姿>

